

令和元年度全国学力・学習状況調査 伊予市調査結果概要

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 平成31年4月18日(木)
- (2) 調査実施校及び調査学年・児童生徒数
小学校9校(第6学年 308名) 中学校4校(第3学年 297名)
- (3) 調査の内容
 - ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)
 - ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

3 教科に関する調査結果の概要

<小学校調査>

	国 語	算 数
伊予市	66	67
愛媛県	67	68
全 国	64	67

<中学校調査>

	国 語	数 学	英 語
伊予市	76	64	55
愛媛県	74	62	55
全 国	73	60	56

○ 小学校では、算数の全ての項目で全国平均正答率とほぼ同じである。また、国語の全ての項目で全国平均正答率を上回っており、教科に関する調査結果は良好である。今後の更なる学力向上に向けて、基礎的・基本的な内容の定着、表現力の育成、言語活動の充実を図るとともに、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を推進していくことが大切である。

○ 特に良好な内容

<国語科>

- ・ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめるなどの「話す・聞く能力」や「関心・意欲・態度」
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うなどの「言語についての知識・理解・技能」

<算数科>

- ・ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができるなどの「数と計算」「数量関係」の学習における「技能」

○ 中学校では、国語、数学、英語の全ての項目で全国平均正答率とほぼ同じか上回っており、教科に関する調査結果は良好である。特に国語科では、昨年度課題であった「言語についての知識・理解・技能」の項目が全国平均を大きく上回っており、改善が図られている。今後の更なる学力向上に向けて、基礎的・基本的な内容の定着、表現力の育成、言語活動の充実を図るとともに、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を推進していくことが大切である。

○ 特に良好な内容

<国語科>

- ・ 封筒の書き方を理解して書くなどの「言語についての知識・理解・技能」

<数学科>

- ・ 数の集合と四則計算の可能性について理解するなどの「数量について知識・理解・技能」
- ・ 確率を求めたり反比例の表から関係を式で表したりするなどの「数学的な技能」

【平均無解答率（答を書かなかった児童生徒の割合）】

本市の平均無解答率が全国の平均無解答率を下回った割合（低い方がよい）（+は良好）

<小学校調査>

国語 (%)	算数 (%)
+4	+2

<中学校調査>

国語 (%)	数学 (%)	英語 (%)
-1	+2	0

○ 本市の平均無解答率を全国と比べると、中学校の国語で全国を下回ったが、全体的には、昨年度までと同じように小学校・中学校ともに良好な傾向である。問題に粘り強く取り組みようとする態度が見られる。

4 質問紙調査結果の概要

<小学校>

- 「家で自分で計画を立てて勉強している」「将来の夢や目標がある」などの項目において全国と比べて良好な結果である。
- 「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」などの生活習慣などの項目において、全国と比べて低い傾向がある。
- 「地域の行事に参加している」割合は、全国と比べてかなり高いが、「地域や社会をよくするために考える」割合は、逆に低い。

<中学校>

- 肯定的な回答が全国平均を大きく上回っているものと下回っているものの差が大きい。
- 「将来の夢や目標をもっている」「地域の行事に参加している」などの項目は、全国と比べて良好な結果である。
- 小学校同様、「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」などの生活習慣などの項目において、全国と比べて低い傾向がある。
- 良好な学力の結果に関わらず、授業理解に関する項目が全国平均を下回っていることについて分析の必要がある。

<自己肯定感について>

自分にはよいところがあると思っている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	82	82	81
中学校	69	75	74

<将来の夢や目標について>

将来の夢や目標をもっている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	87	85	84
中学校	75	74	71

<家庭学習について>

家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	75	73	72
中学校	47	49	50

<授業について>

話し合う活動で考えを深めたり、広げたりできていると感じている児童生徒

	伊予市 (%)	愛媛県 (%)	全国 (%)
小学校	79	76	74
中学校	67	73	73

その他、全国や愛媛県と比較し、良好な傾向のある項目や課題が見られる主な項目は以下のとおりである。

- 全国や愛媛県と比較し、良好な傾向のある項目
 - ・ 起床時刻が規則正しい。(小学校)
 - ・ 学校に行くのが楽しい。(小学校)
 - ・ 話し合って決めたことに協力して取り組みうれしかったことがある。(小学校)
 - ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。(小学校)
 - ・ 読書は好き。(小学校・中学校)
 - ・ 新聞を読んでいる。(中学校)
 - ・ 授業でコンピュータなどのICTをよく活用した。(小学校)
 - ・ 授業でコンピュータなどのICTをもっと活用したい。(小学校・中学校)
 - ・ 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。(小学校)
 - ・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいると思う。(小学校・中学校)
 - ・ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う。(小学校)

- ・スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。(中学校)

○ 全国や愛媛県と比較し、課題が見られる項目

- ・先生は、よいところを認めてくれていると思う。(小学校・中学校)
- ・先生は、分かるまで教えてくれていると思う。(中学校)
- ・話し合っただけで決めたことに協力して取り組みうれしかったことがある。(中学校)
- ・学校に行くのが楽しい。(中学校)
- ・人が困ったときは、進んで助けている。(中学校)
- ・普段(月～金曜日)の勉強時間が多い。(中学校)
- ・新聞を読んでいる。(小学校)
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい。(中学校)
- ・授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。(中学校)
- ・学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。(小学校・中学校)
- ・学級での話し合いを生かして、自分がすべきことを決めて取り組んでいる。(中学校)
- ・即興で考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。(中学校)

5 今後の取組について

この調査結果は、児童生徒の学力の一部であり、全ての学力を調査しているものではありません。各学校から、学校の結果や今後の取組などが示されていることと思いますが、学校と家庭の連携の下、学習状況の改善を図っていくことが大切であると考えます。

また、伊予市では平成25年度から「伊予市立学校の教育力向上推進委員会」を設置し、伊予市児童生徒の学習状況に関する課題や今後の取組について協議しています。ここでは、基礎・基本の定着、小中学校(小学校同士、中学校同士、中学校区の小中学校)での連携、学習指導の充実、学力調査の実施、家庭との連携の強化などが取組の課題としてあげられています。今後も、市と学校と協力して学力向上の推進に努めてまいります。

6 備考

愛媛県教育委員会のホームページにも県や市町の結果の概要が紹介されています。
(<https://ehime-c.esnet.ed.jp/gimu/src/02shidou/01gakuryoku/zenkoku/zenkoku31.html>)